

2010年度

事業報告書及び収支決算書

財団法人大和市国際化協会

目 次

1 事 業	
(1) 概 要	1
(2) 事 業 内 容	2
2 処 務	
(1) 役員に関する事項	26
(2) 評議員に関する事項	27
(3) 職員に関する事項	28
(4) 役員会・評議員会に関する事項	
ア 理事会	29
イ 評議員会	30
(5) 契約に関する事項	31
3 決 算	
(1) 収支計算書	35
(2) 貸借対照表	40
(3) 正味財産増減計算書	41
(4) 財産目録	45

2010年度

事業報告書

財団法人大和市国際化協会

2010（平成22）年度 事業報告書

1 事業

（1）概要

2010年度も残すところあと数日となっていた2011年3月11日。突如、三陸沖を震源にした大地震が東北地方を襲いました。マグニチュード9.0という国内観測史上最大規模の大地震は、想定外の大津波をもたらし、震源地周辺の各市町村に壊滅的な被害を与え、多くの死傷者および行方不明者を出しました。

いまだ未解決のままとなっている放射能汚染水の処理、放射能漏洩事故により大損害を受けた漁業関係者や農家らに対する補償、その他被災地の復興、復旧に向けては問題が山積し、重い閉塞感が日本全体を覆っています。

この未曾有の大震災により、全国各地で予定されていたイベントやまつり等は、中止や延期を余儀なくされ、当協会においても、鉄道の運休、計画停電の実施、また頻繁に起きる余震等の影響から、3月20日の「やまと国際交流フェスティバル」、25日の「ペルー料理教室」、そして26日の「青少年のための多文化共生入門セミナー」の実施を断念しました。

また、被災した原子力発電所の状況は、国際ニュースでも大きく取り上げられ、自国民の避難を呼びかける国もあったことから、一時日本を離れる外国人が急増するなど、私たちの事業内容にも少なからず影響がありました。

しかし、その一方で、日本人と共にこの緊急事態を乗り越えていこうとする外国人も少なくありません。国籍に拘わらず、日本人と外国人が共に協力してこの困難な時代を乗り越え日本の未来を築いていかななくてはなりません。

当協会では、この機を捉え、外国人と共に日本の復興のためにできることは何かを考え、知恵を出し合い、協働していく中で、地域の国際化が図れるよう努力してまいります。

2010年度は、大和市からの委託事業として厚生労働省の緊急雇用創出臨時特例基金事業による、多文化共生ソーシャルワーカーを設置し、個別日本語指導および日本語教室（初級）を実施した他、大和駅東側プロムナードで「やまと世界料理の屋台村」を開催し、多くの市民に外国の食文化を体験できる場を提供しました。

また、第2期大和市多文化共生会議から「外国人市民の『健康』と『防災』に関する課題を解決するために」と題された提言書が提出されたことを受け、外国人市民が直面する「健康」及び「防災」に関する課題への取り組みを市に求めました。

以下、財団法人大和市国際化協会2010年度事業について、その概要を報告いたします。

(2) 事業内容

次のとおり事業を執行しました。

(1) 国際理解の促進及び国際感覚の高揚に関する事業（寄附行為第4条第1号）

① 国際理解講座

- | | |
|-----------|--|
| (ア) 日 時 | 第1回 2011年2月6日(日)午後1時30分～4時
第2回 2011年2月20日(日)午後1時30分～4時 |
| (イ) 場 所 | 大和市つきみ野学習センター |
| (ウ) 内 容 | もっと知りたい韓国
第1回「韓国と日本の関係を学ぶ」
第2回「韓国の人達の生き方や生活を学ぶ」 |
| (エ) 講 師 | 野中章弘氏(ジャーナリスト、アジアプレスインターナショナル代表)
朴ヌリ氏(韓国人留学生、立教大学社会学部2年) |
| (オ) 参 加 者 | 定員各40名 (第1回 47名/第2回 45名) |
| (カ) 募集方法 | 機関誌『Pal』、新聞の募集広告、チラシの配布、ポスター掲示、ホームページを通じて開催を周知した。 |
| (キ) 成 果 | 参加申込みが多数あり、お断りせざるを得ない方もいらっしまった。人気の要因は、講師が著名であること、会場の立地が良いこと、韓国という関心の高いテーマであったこと、そして参加費が無料であったことが考えられる。参加者の多くが韓国に対する理解を深めたり、認識を新たにしようで大きな成果を得た。 |

② 外国語・外国文化紹介講座

[英会話と外国文化(入門・初級レベル)]

- | | |
|----------|---|
| (ア) 開催期間 | 2期開催 各期全15回 時間はいずれも午後1時30分～3時
第I期: 2010年5月31日～10月4日
(7月19日、8月16日、30日、9月20日は休み)
第II期: 2010年11月1日～2011年3月7日
(11月22日、12月27日、1月3日、10日は休み) |
| (イ) 場 所 | 市役所分庁舎会議室 |
| (ウ) 内 容 | やさしい英会話の習得とアメリカなどの文化、習慣について学んだ。
第I期では、プリント教材、第II期では、Longman社発行のテキスト『Side by Side』Third Edition Book2を使用。 |

- (エ) 講 師 第Ⅰ期(入門) 吉田恭子氏
第Ⅱ期(初級) アメリカ出身 ジェニファー バーンヒル氏
- (オ) 参加者 第Ⅰ期 15名 第Ⅱ期 13名 合計 28名
- (カ) 参加料 受講料 12,000円 (但し賛助会員は500円割引)
第Ⅱ期のみテキスト代2,185円別途徴収
- (キ) 成 果 昨年度に引き続き、第Ⅰ期では、入門レベルの講座を開催した。授業は主に英語で進行していくが、わかりにくい文法箇所やその他の疑問点なども丁寧な指導により、受講生の理解が図れ、大変好評だった。講師の人間的な魅力に直接触れながら、言葉を習得していくプロセスは、国際感覚を育てる上で大切な経験であり、その機会を市民に提供し、また英会話サークルの発足につなげることができたことは大きな成果と考える。

[ハングルと韓国文化(入門レベル)]

- (ア) 開催期間 2010年11月10日～2011年3月2日 毎週水曜日 午前10時～11時30分
(12月29日、1月5日は休み) 全15回
- (イ) 場 所 市役所分庁舎会議室
- (ウ) 内 容 テキストに沿って発音、会話を中心にハングルを学んだ。毎回、小テストと宿題を実施して単語と文法の習得に努めた。生活習慣と韓国料理を紹介する講座を2回設けて、韓国の文化も学習した。
- (エ) 講 師 韓国出身 文 西男(ムン ソナム)氏
- (オ) 参加者 15名
- (カ) 参加料 受講料として12,000円(但し賛助会員は500円割引)
- (キ) 成 果 申込みが多数あり、10名以上の方にお断りをするような状況だった。申込みのほとんどは大和市在住の方で、女性が9割近くを占めた。受講の動機は「韓国ドラマを見た」「韓国へ海外旅行に行った」など直接ハングルに触れる機会があった方が多かった。韓国出身の女性講師の会話を中心にした指導が大変好評で、受講者のニーズと合っていたようだ。今後は受講者有志の方々が立ち上げたサークルで同じ講師に指導を継続してもらおうとのことで、当講座が市民の異文化理解の向上に果たした役割は大きいと考える。

③ 機関誌『Pal』の発行

- (ア) 発行月 2010年6月、9月、12月、2011年3月
- (イ) 発行部数 2,500部×4回
- (ウ) 配布先 賛助会員、市役所、市立図書館、市内学習センター、コミュニティーセンター、市内小中高校、大和市観光協会、市内大手スーパー、協力指定店、近隣各市町村国際担当課、各市国際交流協会ほか
- (エ) 内 容
※66号(6月) 協会事業報告、開催事業案内、「外国語通訳事業から～データから考える国際化」、「Hello Everybody」、外国料理レシピ(パラグアイ)
※67号(9月) 協会事業報告、開催事業案内、「第5回にほんごで話そう!日本語ス

ピーチ大会」受賞者スピーチ内容、「行ってみたいなあのお店この店（チャイナカフェ サイヨー）」、市内国際関係団体一覧ほか

※68号（12月）協会事業報告、開催事業案内、「多文化共生会議レポート」、「外国語講座講師紹介」、「行ってみたいなあのお店この店（韓国料理店 オモニ食堂）」、「Hello Everybody」、外国料理レシピ（韓国）ほか

※69号（3月）協会事業報告、開催事業案内、「国際理解講座 もっと知りたい韓国」講演要旨、「Hello Everybody」、外国料理レシピ（ポーランド）、2011年度協会事業カレンダー、賛助会員募集

(オ) 成 果 機関誌『Pal（パル）』を年4回発行し、協会活動内容を広く市民に周知することができた。また、「行ってみたいなあのお店この店」のコーナーで市内の外国料理店を紹介することで、協力指定店への加入にも協力をいただくことができた。

④ 各イベントへの参加

[大和市民まつり]

(ア) 日 時 2010年5月8日（土）及び9日（日）午前10時～午後4時
 (イ) 場 所 引地台公園多目的広場に出店
 (ウ) 内 容 市内在住外国籍市民の出身国が分かるパネル等の展示や、フィリピンの子どもの遊びの実演、南米料理「エンパナーダ」の販売、また、機関誌等の配布を行い協会事業のPRを行った。
 (エ) 成 果 協会事業のPRを行うことができた。今後も市民まつりへ出展し、より多くの市民に国際化協会の活動内容を知っていただけるように出展内容を工夫していきたい。

⑤ 日本語スピーチ大会「第5回にほんごで話そう！外国人スピーチ大会」

(ア) 目 的 在住外国人のスピーチ発表を聞くことを通して、彼らの文化的な背景や思いを理解し、日本人と外国人の相互理解を図る。
 (イ) 日 時 2010年7月18日（日）午後1時30分～4時30分
 (ウ) 場 所 大和市勤労福祉会館3階ホール
 (エ) 内 容 外国籍または日本国籍だが外国文化にルーツを持つ人による日本語スピーチの発表と在日中国人家族で作る「イキイキニーハオの会」による太極拳などの披露を行った。
 (オ) 発 表 者 中国6名、フィリピン3名、ペルー3名、ブラジル2名、合計14名（うち小学生3名、中学生1名、就学生1名、主婦2名、会社員7名）
 (カ) 参 加 者 約130名
 (キ) 実施形態 やまと国際フレンドクラブ、大和日本語ネットワークとの共催
 (ク) 授賞内訳

(表彰順)

授賞内容	氏名	出身国	スピーチテーマ
FMやまと賞	かく 郭 しゅか 守科	中国	小さいところから日本を見る

やまと国際フレンド クラブ賞	ミゲル プリマベラ	フィリピン	私の日本でのけいけん
〃	木村 ダイアナ	〃	フィリピンと日本のちがい
大和日本語ネットワ ーク賞	くまのみなみ 草野南 マウリシオ	ブラジル	外国人として日本で生きる
〃	ソウザ シンチア	〃	日本にいらして3年
スポンサー賞	とう きょう 唐 佐蓉	中国	日本での学校生活
〃	いへ うまいちん 葉 偉清	〃	アルバイトをしました
〃	ロブレス グロリア	ペルー	素晴らしいペルー
〃	米山 ディエゴ	〃	将来の夢
〃	えん ねんか 鄒 年華	中国	印象づけた3つの言葉
〃	はく とうせい 白 東生	中国	お互いの交流、理解と尊重は大切
大和市教育委員会 教育長特別賞	稲福 麗美	ペルー	ほかの国の言葉がしゃべれてや くに立った
大和市長特別賞	安良城 メリージェン	フィリピン	介護の仕事にたいして
オーディエンス賞			
(財)大和市国際化 協会会長賞	かん しい 韓 思維	中国	私の太陽の光

(ケ) 協 賛 10社

	企業・団体名	協賛内容
1	国際ソロプチミスト柴胡	協賛金 10,000円
2	国際ソロプチミストやまとーe	協賛金 10,000円
3	J A さがみ大和地区運営委員会	協賛金 10,000円
4	大和シティライオンズクラブ	協賛金 10,000円
5	有限会社ウエキ文具センター	副賞 デジタルカメラ
6	FMやまと77.7MHz	副賞 商品券
7	株式会社さんこうどう	副賞 翻訳機
8	柏文堂書店	副賞 国語辞典
9	株式会社安田物産	副賞 ソフトドリンク
10	La Palette	副賞 食事券

(コ) 後 援 大和市教育委員会 大和市

- (サ) 成 果 スピーチ発表者の出身国は4カ国と少なかったが、スピーチ内容は前回に勝るとも劣らない素晴らしい内容だった。また、前回と同じように、観客が簡単な感想やコメントを付箋に書き入れ、メッセージボードに掲示したことによりスピーチ発表者に観客の声を伝えることができた。外国人発表者がスピーチ大会に大変意欲的であったことから、自己表現ができるこのような場が必要とされていることを伺い知ることができた。日本人と外国人が共に集い、お互いの顔を見ながらコミュニケーションを図ることができる良い機会としてとらえ、次回も開催を予定していきたい。

⑥ クロスカルチャーセミナー

当事業は、市民の国際理解、国際感覚を育むため、小中学校やその他の団体などの依頼に応じて、外国人講師を派遣し母国の文化、生活習慣などの紹介を行うもので、当該年度は4回のセミナーを実施することができた。

【派遣1】

- ・ 依 頼 者 大和田園ロータリークラブ
- ・ 日 時 2011年2月18日(金) 午後1時～1時30分
- ・ 場 所 北京飯店
- ・ テ ー マ 「日本で暮らして思ったこと・感じたこと」
- ・ 内 容 国際結婚を機に来日した講師から、これまでの日本での暮らしを振り返って、自ら感じた文化や習慣の違いなどに関する体験談を披露いただいた。
- ・ 講 師 中国出身 協会通訳翻訳ボランティア 吉野敏美氏
- ・ 対 象 ロータリークラブメンバー 24名
- ・ 成 果 外国人主婦の誰もが遭遇するであろう、日本人家族とのコミュニケーションの問題や生活習慣の壁について、講師自らの体験談を直接聴くことを通して、日本に暮らす外国人の心情を理解することができた。

【派遣2】

- ・ 依 頼 者 大和中ロータリークラブ
- ・ 日 時 2011年2月24日(木) 午後1時～1時30分
- ・ 場 所 八千代銀行大和支店
- ・ テ ー マ 「ラテンアメリカというパートナーは可能なのか」
- ・ 内 容 南米各国の事情に詳しい講師から、日本と南米各国のこれまでの関係と今後のパートナーシップについてお話を伺った。
- ・ 講 師 アルゼンチン出身 松本アルベルト氏
- ・ 対 象 ロータリークラブメンバー 30名
- ・ 成 果 日本と南米各国が、さらに良きパートナーとなり得る可能性はどのようなところにあるのか。また、日本在住の南米出身者たちはその関係を築くためのかけ橋となり得るのか。それらを踏まえ、講師から将来的な展望について提示いただき、日本と南米諸国の関係を理解する機会を提供することができた。

【派遣3】

- ・ 依 頼 者 大和中ロータリークラブ
- ・ 日 時 2011年3月24日（木）午後1時～1時30分
- ・ 場 所 八千代銀行大和支店
- ・ テ ー マ 「日本人と中国人の習慣の異同について」
- ・ 内 容 日本人と中国人の文化や習慣の違いについて理解を深める
- ・ 講 師 中国出身 協会通訳翻訳ボランティア 王^{オウ} 俊^{ジュン} 秀^{シウ} 氏
- ・ 対 象 ロータリークラブメンバー 30名
- ・ 成 果 日本人と中国人の価値観の違いを中心に大変興味深い話を聞くことができた。講師の温かなお人柄が聴く者に伝わり大変好評だった。

【自主開催1】

- ・ 日 時 2011年3月4日（金）午前10時～12時30分
- ・ 場 所 大和市保健福祉センター3階栄養指導室
- ・ テ ー マ 「家庭で手軽に韓国料理」
- ・ 内 容 韓国の家庭料理「ユッケジャン」の作り方を教わり、韓国の食文化について理解を深め、韓国出身の講師と交流を図る。
- ・ 講 師 韓国出身 協会通訳翻訳ボランティア 山田チョンア氏
- ・ 対 象 市民ら10名
- ・ 成 果 市内で韓国食材店を営む韓国人主婦を講師にお願いして、本国の家庭料理「ユッケジャン」の作り方を教わった。食事を囲んでのおしゃべりでは、韓国の食文化や生活習慣、昨今の日本における韓国ブームのことにまで話が及び、楽しく交流を図ることができた。

【自主開催2】

- ・ 日 時 2011年3月25日（金）午前10時～12時30分
- ・ 場 所 大和市勤労福祉センター2階調理室
- ・ テ ー マ 「ペルー料理を作ってみよう」
- ・ 内 容 ペルーの家庭料理「ロモ サルタド」の作り方を教わり、ペルーの食文化について理解を深め、ペルー出身の講師と交流を図る。
- ・ 講 師 ペルー出身 水洗マルシア氏
- ・ 対 象 どなたでも
- ・ 備 考 東日本大震災により開催中止

（2）市民主体の国際交流への支援及び助成事業（寄附行為第4条第2号）

① 市民主体の国際交流活動への側面的支援

- （ア）内 容 市民または活動団体等に対し、市内の日本語教室、その他の国際交流関連団体に関する情報の提供、仲介を行った。
また、FMやまと77.7MHzで毎週日曜日午後7時から8時まで放送している「インターナショナルクラブ」に提供を行っている。
- （イ）方 法 協会窓口で直接、電話、Eメール、協会ホームページ等

② ホームステイバンク・ホームビジット事業

- （ア）目 的 外国人と大和市民の相互交流を通じて、市民の国際理解、国際感賞の

向上をはかる。
(イ) 登録数 32世帯

【ホームステイ】

- ・ 依頼者 やまと国際親善委員会(事務局 大和市国際・男女共同参画課)
- ・ 期間 2010年7月19日(月)から21日(水) 3日間
- ・ ゲスト 大韓民国光明市青少年訪問団 中・高校生16名(男4名・女12名)
- ・ 成果 昨年度、大和市と大韓民国光明市が友好都市提携を締結し、今回の訪問団受け入れにあたって当事業が活用された。青少年の受け入れにはホストファミリー12軒から協力を得ることができた。限られた時間ではあるが、日本人家庭の中で寝食を共にする良い機会を提供することができた。

③ 国際化推進活動への助成金交付

- (ア) 目的 市民主体の国際交流活動の推進
- (イ) 交付時期 2010年6月
- (ウ) 助成額 448,650円 全9件
- (エ) 交付決定団体 ()内は事業名
 - ・ 日本語教室「やまと・ともだち」(日本語教室)
 - ・ 日本語教室「かけはし」(日本語教室の開設)
 - ・ つきみ野あいうえお(外国人への日本語教育支援)
 - ・ にほんごの会(外国人のための日本語教室の開設)
 - ・ かたつむりの会(インドシナ難民に対する日本語学習支援)
 - ・ 大和日本語教室(社会見学ならびに広報紙作成)
 - ・ バラード(地域在住外国人のための幅広い支援)
 - ・ NPO法人かながわ難民定住援助協会
(インドシナ難民定住者とその家族を対象とした相談事業)
 - ・ チームピース チャレンジャー(タイ、インド、バングラデッシュフェアトレード展および交流会)

④ 国際交流活動への後援事業

市民団体による優れた国際化推進活動を対象に、後援名義貸し、イベントへの出演者紹介などを行った。

- (ア) 後援名義 7件
- 使用事業等
 - ※やすらぎと緑のふれあいまつり2010
2010年4月29日(木・祝日)午前10時～午後5時
上草柳地区社会福祉協議会
 - ※夏休み子ども学習教室「学べ～る」
2009年8月16日(月)、17日(火)、18日(水)の3日間
午前10時～正午
やまと国際フレンドクラブ
 - ※あーすフェスタかながわ2010
2010年9月11日(土)、12日(日)
あーすフェスタかながわ2010実行委員会

※第3回やまと国際アートフェスタ

2010年10月23日(土)～24日(日)午前10時～午後6時
やまと国際フレンドクラブ

※ほっと・ナイト・やまと ～ロウソクの灯で秋の夜長を楽しもう～

2010年10月24日(日)午後1時～午後9時
社団法人大和青年会議所

※第2回やまと子ども絵画大賞

2010年11月6日(土)表彰式
2010年11月6日(土)～11月23日(火)入賞作品展示
笹倉鉄平版画ミュージアム

※第6回日韓文化交流のつどい

2011年1月30日(日)午後1時～4時
県央日韓親善協会

(イ) その他 1件

※県央日韓親善協会会報挨拶文

2011年1月創刊号へ国際化協会会長の挨拶文を掲載

⑤ ホームページの運用事業

- (ア) 目的 協会イベントや外国人に必要な情報を多言語化して広く提供する
- (イ) 内容 ホームページで多言語による情報提供
外国人向け情報紙、協会イベント情報、東日本大震災に係わる福島原発事故、計画停電に関する情報など
- (ウ) 言語 日本語、スペイン語、中国語、ベトナム語、英語
- (エ) 成果 必要な情報を多言語で提供する機会が増えたことは、成果としてあげられる。今後は、情報をスムーズに更新する方法や必要とされる情報の選択を検討していく必要がある。

(3) 外国人と共に暮らせる地域環境づくりに関する事業(寄附行為第4条第3号)

① 外国語通訳事業

- (ア) 目的 外国人市民の市役所での手続きや生活一般に関するさまざまな問い合わせに対応し、通訳を介して問題解決を図る
- (イ) 対応言語 スペイン語、中国語、ベトナム語、タガログ語、英語
- (ウ) 実施日
スペイン語—火曜日・金曜日 午前9時～午後5時
中国語—第1・3・5木曜日 午前9時～正午
タガログ語—第2・4木曜日 午前9時～正午
ベトナム語—水曜日 午前9時～午後3時
英語—月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
- (エ) 配置場所 国際化協会事務局 但し、スペイン語通訳員は午前中のみ市役所2階国際・男女共同参画課にて対応
- (オ) 通訳内容 税金納付相談(住民税、保険税など)、出入国手続き、国民健康保険・年金加入手続き、外国人登録手続き、小・中学校編入手続き、生活保護の相談、日本語教室の紹介、市立病院における診察・諸手続き、乳幼児予防接種・健康診査の受診方法、学校等からのお知らせ文書の

内容説明、市営・県営住宅入居申込書記入方法の説明、戸籍謄本取り寄せ事務処理など

- (カ) 通 訳 料 無 料
- (キ) 通訳件数 スペイン語 1,617件、ベトナム語 368件、英語56件、タガログ語7件、中国語6件（内訳はP20のとおり）合計 2,054件
- (ク) 成 果 言葉の問題を抱える外国人市民のために、市役所の各課窓口や市立病院において通訳を行ったり、その他様々な問合せや相談に対応し、問題の解決に必要な情報の提供を行った。

② 通訳・翻訳ボランティアの紹介及び派遣

- (ア) 目 的 言葉が通じない市民間及び行政機関とのコミュニケーションを円滑にする
- (イ) 登録言語 英語、スペイン語、中国語、ハングル、ポルトガル語ほか 全15言語
- (ウ) 登録者数 151名（言語別内訳はP21のとおり）
- (エ) 通訳内容 市内小中学校—個別面談・家庭訪問・授業補助・定期テスト・授業参観・学習指導・学校説明会・入学式、病院—各科診察・事務手続き、市内保育園、幼稚園懇談会・入園説明会、市発達障害児診断、市養育相談、家庭裁判所調停、警察署他
- (オ) 翻訳内容 戸籍謄本、各種証明書（出生、婚姻など）、市内小中学校—通信表書式・所見・各種お知らせ（個人面談日程、給食費支払い）、各種予防接種案内、「事業系・家庭系ごみの出し方」パンフレット、「家庭のごみと資源に関するアンケート」、「家屋と税金」、スポーツ施設利用予約案内（市担当課ホームページ用）、「小学校外国語活動年間指導計画案」パンフレット、「家族ですすめる離乳食」パンフレット、韓国友好都市交流関係書簡他
- (カ) 利用件数 通訳 233件（内訳はP22のとおり）
翻訳 292件（内訳はP23のとおり）
- (キ) 費 用 通訳—半 日 2,000円 1日 4,000円
翻訳—A4サイズ 2,000円
- (ク) 成 果 通訳、翻訳とも需要は高く、行政から依頼される多言語資料の翻訳は内容も多岐にわたり、専門的な知識などが要求されることも多いが、登録ボランティアの協力の下に作成できていることは大きな成果といえよう。

③ 多文化共生会議（第2期・2008年度からの継続事業）

- (ア) 目 的 大和市の多文化共生社会の実現へ向けて必要なことを日本人市民と外国人市民が同じテーブルについて検討する場を提供する。また、外国人市民に対し、行政参加の場を提供する。
- (イ) 内 容 日本人市民および外国人市民をメンバーとする検討会議「第2期大和市多文化共生会議」を組織する。検討テーマは「外国人市民の『健康』及び『防災』」。（提言内容はP24のとおり）
- (ウ) 経 過 2008年12月6日に発足し、2010年11月30日までの2年間の任期中、日本人市民4名および、外国人市民7名（ペルー2名、中国1名、フ

ィリピン2名、ベトナム1名、カンボジア1名)計11名の委員が、21回の会議と2回のフィールドワークを行い、提言を作成した。会議の経過は以下の通り。また、完成した提言書は、1月31日に大和市長へ提出した。

回	日時
第13回会議	2010年4月17日(土)午後1時30分から
聞き取り調査 ⑦「災害に備えた平時のネットワークづくり」	大和市文化スポーツ部国際・男女共同参画課
第14回会議	2010年5月15日(土)午後1時30分から
提言の作成に向けて(スケジュール案と防災分野の振り返り)	
第15回会議	2010年6月19日(土)午後1時30分から
防災の提言素案の校正、健康分野の振り返り	
第16回会議	2010年7月17日(土)午後1時30分から
健康の提言素案の校正、防災の提言素案の校正	
聞き取り調査 ⑧	2010年8月30日(月)午後2時から
「在日コリアン高齢者と地域社会」	
	ふれあい館 三浦知人館長
第17回会議	2010年9月18日(土)午後1時30分から
健康の提言素案の校正、防災の提言素案の校正	
第18回会議	2010年10月16日(土)午後1時30分から
健康の提言素案の校正、防災の提言素案の校正	
第19回(臨時)会議	2010年11月6日(土)午後1時30分から
健康の提言素案の校正、防災の提言素案の校正	
第20回(臨時)会議	2010年11月13日(土)午前10時から
健康の提言素案の校正、防災の提言素案の校正	
第21回会議	2010年11月20日(土)午後1時30分から
提言書の最終確認	

(第1回～第4回…2008年度、第5回～第12回は2009年度実施)

(エ) 成 果 2年という長い時間をかけて、「健康」、「防災」という2つの課題を検討できたことで、問題を深く掘り起こし、実現性を有した提言が作成された。また、外国人市民が、自らの問題に向き合い、解決への道を日本人市民とともに探り出すというプロセスは、協会にとっての外国人市民キーパーソンづくりにも成果があった。

しかし、東日本大震災が発生し、当協会における、災害発生時の支援体制のあり方、外国人市民への情報提供のあり方などについての問題が浮き彫りになる中で、提言を実現させていかなければ意味がないことを痛感した。今後、今回の提言を早く実現させていけるよう努力していきたい。

④ 生活セミナー

- (ア) 目的 外国人市民へ母国語の通訳を介して日本社会の仕組みや制度について紹介し、理解を図る
- (イ) 日時 2010年4月3日(土) 午後2時～4時
- (ウ) 場所 市役所分庁舎会議室
- (エ) テーマ 「損害保険セミナー」と題して開催
- (オ) 内容 スペイン語による逐次通訳をつけ、交通事故にあってしまった際にどのように対処したらよいのか、また損害保険の保険金請求はどのようにしたらよいのかについて事例を通して学び、損害保険に対する理解を深めた。
- (カ) 講師 NPO法人かながわ外国人すまいサポートセンター
副理事長 高橋 修 氏
- (キ) 対象 外国人市民
- (ク) 参加者 17人(出身国内訳：ペルー16名、フィリピン1名)
- (ケ) 参加料 無料
- (コ) 広報 協会外国語版情報紙『Tierra(ティエラ)』、スペイン語新聞『International Press』を通じて行った
- (サ) 成果 車輜保険(自賠責保険、任意保険)の仕組み、また、事故が起きてから示談までの事故処理の流れや注意点について説明を受け理解を深めることができた。南米では事故処理は弁護士に依頼するという考え方が一般的であるが、日本では加入している保険会社に委任すること、また、自分が加害者となった場合は被害者を見舞うなど、配慮を重んじることにしても触れ、母国の価値観と日本のそれとの違いを理解する必要性を説いた。当日の参加者からは、質問も活発に出され、大変有意義なセミナーとすることができた。

⑤ 第6回やまと国際交流フェスティバル

- (ア) 目的 在住する日本人と外国人が、お互いの文化に触れ、交流する場を実現することにより、日本人と外国人双方の国際理解の促進を図る
- (イ) 日時 2011年3月20日(日) 午前10時30分～3時30分
- (ウ) 場所 大和駅東側プロムナード
- (エ) 内容 外国舞踊や音楽のステージ、外国料理屋台(7カ国7店舗)、外国文化体験ワークショップ、国際関連団体によるフリーマーケット、スタンプラリーなど
- (オ) 備考 実施に向け準備を進めていたが、3月11日に発生した東日本大震災後の計画停電などの影響を受け、止む無く開催中止となった。実行委員15名の構成は、日本人7名、外国人8名(中国1名、韓国1名、フィリピン3名、ブラジル1名、ペルー2名)となっており、うち8名は初参加であった。良かった点は、準備段階で行った食事会などを通して、実行委員同士の親睦を深めることができたことである。それにより「次回のフェスティバルを是非同じメンバーで実施したい」と希望する声が多く聞かれた。

⑥ 外国人向け情報紙『Terra(テラ・英語版)』、『Tierra(ティエラ・スペイン語版)』、

	『你好（ニイハオ・中国語版）』、『Chao Ban（チャーオバーン・ベトナム語版）』の発行
(ア) 目的	外国人市民へ生活に密着した情報の提供を行い、地域社会への理解を図る
(イ) 発行日	年6回（偶数月発行）
(ウ) 内容	
※4月号	市内日本語教室紹介、「4月から子ども手当制度が始まりました」国際化協会賛助会員募集、協会事業案内
※6月号	「人間ドック受診料を補助します」、市税納期の案内、「大和警察署からのお願い」、協会事業案内
※8月号	「高校進学ガイダンスのご案内」、「定住外国人の方の住民投票資格者名簿への登録申請を受け付けます」、「APEC首脳会議開催に伴う警察活動にご理解とご協力を」、協会事業案内
※10月号	「日本語教室（初級）受講生募集」、「新1年生のための健康診断のお知らせ」、「がん集団検診のご案内」、「公立・私立認可保育園申請受付開始」、協会事業案内
※12月号	確定申告のご案内、「年末年始ごみ収集および資源分別回収のお知らせ」、「年末年始救急医療機関のご案内」、協会事業案内
※2月号	国際化協会年間事業計画一覧、協会賛助会員募集、協会通訳サービス、協会ボランティア登録、協会事業案内
(エ) 発行部数	英語版・スペイン語版 各1,000部 中国語版・ベトナム語版 各 700部
(オ) 配布先	外国人賛助会員の自宅へ郵送、市役所、市立図書館、市内学習センター、市内小中高校、市立保育園、市内幼稚園、外国食材店、市内大手スーパー、市内日本語教室、その他市内公共施設
(カ) 成果	生活に密着した行政情報を中心に掲載することにより、外国人市民へ役立つ情報の提供を行うことができた。また、例年どおり、情報紙の作成にあたっては、登録ボランティアの協力をいただき行うことができた。

⑦ 登録ボランティアらによる「日本語・学習支援教室」の実施

【夏休み子ども教室】

(ア) 目的	外国籍児童生徒のための学習支援を行い、学力向上の一助とする。
(イ) 日時	7月23日（金）、27日（火）、28日（水）、29日（木）、30日（金）、31日（土）午前10時～11時30分 全6回
(ウ) 場所	大和市保健福祉センター4階講習室他
(エ) 内容	夏休みの宿題、日本語学習、教科学習など児童生徒の希望に沿った学習を個別対応で支援した。
(オ) 対象	小中学校に通う外国籍児童生徒
(カ) 参加者数	のべ113名（実数：小学生13名、中学生8名） 出身国内訳：ペルー9名、フィリピン5名、パラグアイ2名、中国2名、ブラジル2名、アルゼンチン1名、
(キ) 費用	無料
(ク) 広報	協会外国語版情報紙等を通じて行った。
(ケ) 成果	日本語・学習支援ボランティアに協力をいただき、「夏休み子ども教

室」を開催した。今回で4回目となり、全6回の教室には、事前の日程調整により予定したボランティアが、個別に生徒の支援にあたった。長い夏休みに、学習できる場を設置できたことで、生徒の学習意欲を育み、ボランティアには実践の場を提供することができた。

【特別支援】

- (ア) 目的 保護者の要請により、外国籍児童生徒らに日本語および教科の学習支援を行う時間を個別に設け、学力の向上を図る。
- (イ) 日時 ①2010年4月5日、12日、19日、26日、5月10日、17日、24日、31日、6月8日、14日、21日、28日、7月5日、8月16日、23日、30日、9月6日、13日、27日、10月4日、6日、25日、11月1日、8日、15日、22日、29日 午後3時45分～5時 全26回
 ②2010年8月9日、11日、13日、16日、18日、20日、24日、27日 午前10時～11時30分 全8回
 ③2010年12月7日、8日、14日、15日、20日、21日、22日、27日、2011年1月5日、11日、12日、13日、14日、18日、19日、20日、21日、24日、25日、26日、27日、28日、31日 午前10時～正午 全23回
 ④2011年2月1日、5日、8日、15日、19日、22日、3月5日、8日 午前9時30分～11時30分 全8回
 ⑤2011年3月15日、18日、25日、28日、29日 午前10時30分～正午 全5回
- (ウ) 場所 大和市役所分庁舎2階会議室
- (エ) 指導内容 ①③④⑤日本語 ②夏休みの宿題(国語・算数)
- (オ) 対象 ①市内小学校4年在籍 中国出身男子1名
 ②市内小学校4年在籍 ペルー出身男子1名
 ③市内小学校4年編入予定 フィリピン出身男子1名
 ④市内中学校2年編入予定 ベトナム出身女子1名
 ⑤市内小学校4年編入予定 フィリピン出身女子2名
- (カ) 費用 無料
- (キ) 成果 子どもの日本語力を心配する保護者の要請を受け、分庁舎の会議室を利用して日本語や教科の学習支援を実施した。支援には学習支援ボランティアがあたり、各生徒のニーズに即した支援を通して個々の目標に達することができたことは大きな成果と言えよう。
 この「特別支援」の事業は、指導室から当協会に紹介されて来る生徒、または保護者が直接協会窓口で学習支援を希望するケースに対応しているのが現状で広くPRをしていない。その理由は、支援をする場所(会議室)の確保が容易でない点にある。一端支援が始まると、一定期間継続的な支援が必要となるため、会議室を定期的に確保することが必要となる。

⑧ 学習支援教室の開催

- (ア) 目的 外国人児童生徒のための学習支援を行い、学力向上の一助とする。
- (イ) 期間 2010年4月から2011年3月 第1、2、3土曜 午前10時～午後1時30分

(年末年始を除く)

- (ウ) 場 所 大和市役所分庁舎会議室
- (エ) 内 容 神奈川大学スペイン語学科の大学生らで作る有志サークル「Mi casa, Tu casa」との共催により実施。大学生ボランティアらが、個別対応で、外国人児童生徒の日本語および教科学習の支援を行った。
- (オ) 対 象 小中高校に通う外国籍児童生徒
- (カ) 実施回数 35回
- (キ) 参加者 参加児童数のべ 177名(各回平均約5名)
支援者数のべ 146名(各回平均約4名)
- (ク) 費 用 無料
- (ケ) 成 果 意欲を持って学習室に通う児童生徒が増え、学力の向上だけでなく、気持ちの部分の成長につながっている様子が見えた。事業の継続により、年代の違う人と人のつながりが生まれ、お互いの精神的・社会的な成長も見られるようになった。

⑨ にほんごひろば

- (ア) 目 的 普段の生活で日本語に触れる機会が少ない外国人の子どもに、簡単な日本語を学べる機会を提供し、日本語学習への興味を広げることを目的とする。
- (イ) 日 時 2011年2月2日、9日、16日、23日、3月2日、9日、16日
毎週水曜日 午後2時～3時15分 全7回
- (ウ) 場 所 大和市勤労福祉会館2階茶室
- (エ) 内 容 あいさつ言葉や、日常生活でよく使う簡単な言葉を学ぶ。保護者にも同席いただき、子どもと共に学ぶスタイルで進行。
- (オ) 講 師 「子育てパートナー・てとて」(元公立保育園保育士)
- (カ) 対 象 小学校入学前の外国籍児童ら
- (キ) 参加者数 のべ88名(出身国内訳：ペルー、フィリピン、アメリカ、ドミニカ共和国、パラグアイ、中国)
- (ク) 費 用 無料
- (ケ) 広 報 協会外国語情報紙等に掲載
- (コ) 成 果 工夫を凝らした教材を使って、ひらがなや日常生活でよく使う言葉を学んだり、体を動かしながら日本語の歌を歌ったりと、毎回楽しみながら学習することができた。家庭の中では母語に偏りがちだが、「にほんごひろば」を開催することで、小学校入学前に日本語を学べる環境を提供することができた。

⑩ 日本語教室(初級)

- (ア) 開催期間 2011年1月11日から3月4日までの火・金曜日(全15回)
午後2時から4時
- (イ) 場 所 大和市役所分庁舎
- (ウ) 内 容 普段の生活(職場、地域、学校)で使える実用的な日本語会話を学ぶ。
- (エ) 講 師 TIJ東京日本語研修所
- (オ) 参加者 21名(ペルー9、中国3、ベトナム3、ボリビア1、フィリピン2、パラグアイ1、メキシコ1、ガーナ1)

- (カ) 費用 受講料 1,500円
- (キ) 成果 市内日本語サークルで活躍しているボランティアに、毎回、講師の補佐役をお願いして教室を実施した。それにより、各受講生へより丁寧な対応が可能になったと同時に、講師の授業に参加することでボランティアにとってもスキルアップにつながる良い機会となった。受講生は出席率7割の生徒に出される修了証を一つの目標に、週2回の教室に熱心に参加した。アンケートの結果からも講師の指導は大変好評で、当教室の継続的な開催を望む声も多かった。今回の開催が受講生のさらなる日本語学習への意欲を育てたことは大きな成果である。

⑪ 緊急雇用創出臨時特例基金事業（多文化共生ソーシャルワーカー）

- (ア) 目的 非正規労働者、中高年齢者等の失業者を雇用し、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出・提供することを目的とする国の緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用し、多文化共生ソーシャルワーカーを配置する。
- (イ) 内容 多文化共生ソーシャルワーカーの雇用
- (ウ) 実施日 月曜日・火曜日・金曜日 午前9時～午後5時
- (エ) 配置場所 国際化協会事務所
- (オ) 内容 個別日本語指導および日本語会話教室（初級）の実施。また、来会する外国人市民からの様々な問合せや相談にも応じて問題の解決を図った。
- (カ) 費用 無 料
- (キ) 成果 本事業によりスペイン語に堪能な職員を配置することができ、殊にスペイン語圏の日本語学習者や相談者に便宜を図ることができた。個人のニーズに合わせた個別の日本語学習は大変好評だった。継続を望む学習者は多かったが、実施する場所の確保は難しく、通年を通しての実施については再考を要すると考える。

(4) 国際化を促進するための人材育成事業（寄附行為第4条第4号）

① 大和日本語ネットワークの運営

- (ア) 目的 市内で活動している日本語教室および外国人の日本語学習を支援している団体が、相互の情報を交換し合い、連携を深め、個々の活動の活性化を図る。
- (イ) 日時 第1回： 2010年4月15日（木）午後2時～4時
第2回： 2010年12月2日（木） 同上
- (ウ) 場所 大和市保健福祉センター4階講習室
- (エ) 内容 第1回： 各日本語教室の活動状況の報告、協会主催事業に対する協力依頼（日本語スピーチ大会出場者募集）、「日本語教室活動状況調査アンケート」への回答依頼他
第2回： 日本語スピーチ大会の報告、日本語教室活動状況調査アンケート集計結果報告、第6回やまと国際交流フェスティバルへの出展について
- (オ) 出席者 第1回： やまとともだち、やまびこ、かけはし、にほんごの会、おでん、かたつむりの会、大和日本語教室、青少年会館日本

語教室、かながわ難民定住援助協会

第2回： やまとともだち、やまびこ、かけはし、にほんごの会、か
たつむりの会、大和日本語教室、つま読み書きの部屋、
かながわ難民定住援助協会

各サークルから1名出席

- (カ) 成 果 市内の各日本語教室が集い、情報交換を行う場として、ネットワーク
会議を開催した。昨年度は、リストラで職を失った外国人が日本語教
室に参加するケースが増え、そのため、定員オーバーになる教室が多
かったが、各サークルの報告から、今年度は少しずつ生徒の減少がみ
られることがわかった。また、いくつかのサークルが活動場所や新し
い担い手の確保に苦慮していることから、協会では助成金制度の見直
しやボランティア養成講座の開催など、協会では出来る支援策を行っ
ていきたいと考える。

② 青少年のための「多文化共生入門セミナー」

- (ア) 目 的 若年層への多文化共生理解の促進及び人材の発掘
(イ) 日 時 2011年3月26日(土) 午前10時から午後5時
(ウ) 場 所 IKOZA 302スタジオ
(エ) 講 師 コーディネーター MC. BETO氏 打楽器奏者 KTa☆brasil氏
(オ) 内 容 外国につながる中学生を対象に、不安や悩みを音楽を通して解決につ
なげるワークショップを開催する。
(カ) 備 考 東日本大震災により開催中止

③ 日本語教授法ブラッシュアップ講座

- (ア) 目 的 日本語ボランティア教師のスキルアップ及び活動の活性化を図る
(イ) 日 時 第1回：2010年8月5日(木) 午後3時～5時
第2回： 8月26日(木) 同上
第3回： 9月2日(木) 同上
(ウ) 場 所 大和市保健福祉センター4階講習室
(エ) 内 容 第1回：日本語らしい話し方 発音1
第2回：日本語らしい話し方 発音2
第3回：日本語らしい話し方 授受表現
(オ) 講 師 インターカルト日本語学校講師 喜多民子氏
(カ) 対 象 日本語教室ボランティアおよび日本語教師養成講座受講経験者
(キ) 参 加 料 無料
(ク) 参 加 者 のべ 100名
(ケ) 成 果 第1回と第2回は「音声」、第3回は「授受表現」をテーマに開催し
た。毎回、配布される資料はそのまま日本語教室の現場で使える物が
多く、受講生から大変好評だった。当講座の受講を通して、何気なく
使っている日本語の仕組みを知ること、日本語の面白さを再発見で
きることは、日本語指導に対するモチベーションを高めることにも
つながっている。日本語ボランティアとしての活動経験がまだ浅い
方や、20年以上も活動を続けている方など、受講生の内訳は様々であ
るが、アンケート回答や直接的な意見交換を通してニーズを把握し、

今後の講座内容の充実を図っていきたいと考える。

④ ボランティアセミナー

- (ア) 目的 国際交流、ボランティア団体等のリーダーの発掘及び育成
- (イ) 日時 2011年3月6日(土)午後1時～4時30分
- (ウ) 場所 市役所分庁舎3階会議室
- (エ) 講師 財団法人波多野ファミリスクール 理事 大蔵守久 氏
- (オ) 内容 前半は「年少者日本語指導概論 教材と指導法の工夫」と題して日本語および教科の指導についての講義、後半は座談会を開催
- (カ) 参加者 国際化協会登録ボランティアら25名
*教育委員会指導室指導主事の渡辺 卓先生、日本語指導員津田いずほ先生、薬師寺美穂先生にもご参加いただいた。
- (キ) 成果 ボランティアが遭遇すると予想される指導上の課題点や、ボランティアが直面しているその他の課題に対して、講師から、その対処法や解決につながるアドバイスを明確に提示いただけたことは、大きな収穫だった。講師の指導に対する熱意と工夫を凝らした指導法は、ボランティアの活動の動機に良い刺激となり、紹介された指導法は実践で活用したいとするボランティアの声が多く聞かれた。

⑤ 多文化共生推進ネットワークの形成

- (ア) 目的 国際関連の分野で活動している諸団体とネットワークを構築し、多文化共生社会の実現のための連携を図る。
- (イ) 内容
- 【かながわ自治体の国際政策研究会 研修会】
2010年10月4日 午後2時～4時30分 大和スポーツセンター第一・二会議室
神奈川県が主催し、県内各市町村の国際交流政策を担当する職員がメンバーの研究会「かながわ自治体の国際政策研究会」の研修会(テーマ 災害時外国人住民支援における自治体と国際交流協会等の役割について)で、パネルディスカッションにパネリストとして参加。事例報告として、第2期大和市多文化共生会議の紹介を行った。
- 【多文化ソーシャルワーク検討委員会】
2011年1月12日 午後1時30分～4時30分 神奈川県立地球市民かながわプラザ調査室
2011年2月3日 午後1時30分～4時30分 神奈川県立地球市民かながわプラザ調査室
財団法人かながわ国際交流協会が主催する「多文化ソーシャルワーク検討委員会」に検討委員として出席。当協会の多文化共生ソーシャルワーカーの配置事業について事例報告をするとともに、多文化ソーシャルワークに必要と思われる取り組みについて検討した。
- (ウ) 成果 行政の外郭団体、公益法人を取り巻く環境が厳しくなる中で、当協会の実施事業を成果として正しく評価していただき、存在意義を広くアピールすることは重要であると考え参加した。どこの市町村でも同じ課題を抱えていることが分かった。今後も積極的に連携して、ともに問題解決に努めていきたいと考える。

⑥ 日本語・学習支援ボランティアの紹介および派遣

- (ア) 目的 日本語力不足の外国籍児童生徒らに日本語および教科の学習支援を行い学力の向上を図る
- (イ) 期間 2010年4月から2011年3月
- (ウ) 依頼者 市内小中学校13校：緑野小、南林間小、林間小、西鶴間小、大和小、文ヶ岡小、草柳小、深見小、柳橋小、引地台小、桜丘小、福田小、渋谷中学校（内訳はP25のとおり）
- (エ) 内容 日本語、教科（国語、算数、社会、理科、英語）、日本語検定試験、進学準備等の支援を行った。
- (オ) 支援対象 市内小中学校に通う外国籍児童生徒ら 42名
（出身国内訳：ペルー、フィリピン、ドミニカ共和国、中国、ベトナム、カンボジア、アメリカ）
- (カ) 支援者 日本語・学習支援ボランティア
- (キ) 成果 市内小中学校の依頼に応じて、日本語・学習支援ボランティアを現場に派遣し、日本語力不足の外国籍児童生徒らに日本語や教科の学習支援を行った。継続的な支援になるため、回数を重ねるごとに生徒とボランティアとの信頼関係が生まれ、生徒の学力向上につなげることができた。今年度は、小学校12校、中学校1校へのボランティア派遣を含め、通算914回 1,478.50時間の活動を行うことができた。
（2009年度：731回 1,271時間）

(5) その他目的を達成するために必要な事業（寄附行為第4条第5号）

2010年度 外国語通訳事業 内容および件数

内容	スペイン語	ベトナム語	英語	タガログ語	中国語	合計
出入国	11	4	1			16
税金	227	3	5			235
保険(国保等)	218	5		1	1	225
婚姻・離婚	22	5		1		28
届出手続き	107	4	7			118
求職求人	2	2				4
労働問題	15		1			16
子ども教育 (未就学児)	124	9		1		134
子ども教育 (就学児)	194	6	2	1	2	205
医療(市立病院)	64	290	13			367
福祉	70	9	6	2		87
住居	183	8	3	1		195
生活	22	16	1			39
健康	81	5	1			87
趣味・レジャー	2					2
翻訳依頼	4	1	5			10
日本語学習	27	1	4		2	34
その他	244		7		1	252
合計	1617	368	56	7	6	2054

財団法人大和市国際化協会ボランティア登録者数内訳

(2011年3月31日現在)

事業ボランティア	28名
通訳翻訳ボランティア	151名 表1参照
クロスカルチャーセミナーボランティア講師	6名
日本語・学習支援ボランティア	89名
合 計	274名

(表1)

登録言語	登録者数
英語	57
スペイン語	26
中国語	17
ポルトガル語	7
タイ語	7
ハングル	7
タガログ語	4
フランス語	2
ベトナム語	7
ラオス語	1
カンボジア語	1
インドネシア語	2
ロシア語	1
英語・中国語	1
英語・スペイン語	2
英語・タガログ語	1
英語・インドネシア語・オランダ語	1
英語・フランス語	2
英語・スペイン語・ポルトガル語	3
スペイン語・ポルトガル語	2
合 計	151

2010年度通訳ボランティア活動実績表

表1 依頼者別件数

(2010.4.1 ~ 2011.3.31)

依頼者	市教育委員会 指導室	家庭教育委員会 指導室	個人	国際化協会	市保育家庭課	市生活福祉課	市障害福祉課	市介護保険課	市国際男女 共同参画課	市市民相談課	市土木管理課	大和市立病院	三ツ境養護 学校	県立座間総 合高等学校	県立藤沢工 科高等学校	機子区役所	月別件数
主な 内容	家庭訪問 個別面談 懇談会 定期テスト内 容学習 指導 指導致式	裁判所 病院 税務署 児童相談所 幼稚園 市生活福祉 課	セミナー 窓口対応	保育園懇談 会 個別 面談 発達相談	生活保護相 談	障害者手帳 手続き	介護認定	韓国光明市 訪問団	法律相談	護岸視察	内科 入院病棟で の診察等	家庭訪問 保護者会	三者面談	新入生説明 会	裁判所調停		
4月	7	1	1	1												1	10
5月	23	2	2	2	1							1					29
6月	3	1	1		1												5
7月	26	1	1		1	2	3										34
8月		1	1									1					4
9月	7	5	5		1												13
10月	15	5															20
11月	16	2	2		1	1		1		1							21
12月	25				1	1						1		2			29
1月	14	2	2		1	2						2					21
2月	20	3	3		2			1									29
3月	11	3	2												1	1	18
合計	167	26	9	8	5	2	3	1	3	1	1	3	0	3	1	1	233

前年度: 179件

表2 言語別件数

言語	スペイン語	ベトナム語	英語	タガログ語	ポルトガル語	中国語	ハンダ語	タイ語	カンボジア語	月別合計
4月	5	3	1	1		1				10
5月	10	2	3	10	1			1	2	29
6月	3			2						5
7月	16		4	4	1	4	4	1		34
8月	1	1				1	1			4
9月	6	2			4			1		13
10月	5	1		2	5	7				20
11月	3	1		1	6	9	1			21
12月	13	2	4	5	1	3	1			29
1月	8	2	1	2	4	4				21
2月	8	2	4	4	7	7	1			29
3月	6	1	1	2	3	5				18
合計	84	17	18	28	32	41	5	6	2	233

2010年度翻訳ボランティア活動実績表

(2010.4.1 ~ 2011.3.31)

表1 依頼者別件数

依頼者	個人	国際化協会	市教育委員会 指導室	市教育委員会 教育研究所	市健康づくり 推進課	市国際・男女 共同参画課	市環境管理セン ター 業務課	市環境総務課	市子ども総務課	市資産税課	市スポーツ課	市保育家庭課	市市民課	市立図書館	月別合計	
主な 内容	戸籍謄本 証明書(婚姻、 出生など) 診断書 医療明細書 あゆみ	国際化協会の 外国語情報紙 韓国及好都市書簡 ネイティブチェック	通信書式 あゆみ所見 学校のお知らせ (個人面談、給 食費)	「小学校外国語 活動年間指導 計画案」	「大和市乳幼児予 防接種-健康診断」 「大和市医療機関 名簿」 「BCG予防 接種日程」 「ポリオ 予防接種日程」 「ポ リオ接種券簿」	韓国友好都市 書簡、韓国青少 生訪問回感想 文	「事業系ごみと資 源の出し方」「家庭 のごみと資源の出 し方」	「家庭のごみと 資源に関するア ンケート」	「家族ですすめ る離乳食」	「家屋と税金」	スポーツ施設利 用予約案内 (ホームページ 用)	本国の医療機 関が作成した診 療情報(差違障 害児の保護者 提供)	書簡	通知	件数	枚数
4月	11	7	4					4	4	2				22	52	
5月	7		4							2				13	20	
6月	7	5	3											15	25	
7月	7	3				2								12	22	
8月	13	6			36	3								58	49	
9月	5	2	15			1							2	25	51	
10月	6	8	3					1	2					18	44	
11月	10	5										1		16	47	
12月	3	1		1										5	111	
1月	6	1					18	81						26	108	
2月	3	9	30					7	42					19	78	
3月	4	1	3		45	45		1	6					63	103	
合計	82	204	48	140	36	54	1	99	81	81	6	17	8	23	292	710

表2 言語別件数

言語	英語	スペイン語	中国語	ハンガール	ベトナム語	タイ語	ポルトガル語	タガログ語	ラオス語	カンボジア語	月別合計
4月	10	4	2	2	1	2		1			22
5月	6	3		1	1				1	1	13
6月	5	2	2		1	3		1	1		15
7月	4	2		5		1					12
8月	15	8	5	8	5	4	5	4	4		58
9月	13	3	1			2	1	5			25
10月	8	4	3		1			1	1		18
11月	10	3	1		1	1					16
12月	4	1									5
1月	8	3	2	2	2	3	2	2	2		26
2月	6	5	2	1	2	1	1	1			19
3月	11	9	6	5	7	7	5	8	5		63
合計	100	47	24	24	21	24	14	23	14	1	292

前年度: 291件

**外国人市民の『健康』と『防災』に関する課題を解決するために
第 2 期大和市多文化共生会議の提言**

『健康』に関する提言

- 1. 外国人市民が受診しやすい医療機関づくりを進める取り組み**
提言 1 外国新市民が受診しやすい医療機関づくりを進める。
- 2. 外国人市民への『健康』に関する情報提供を充実させる取り組み**
提言 2 外国語で受診できる医療機関の情報を収集し公開する。
提言 3 行政情報を多言語で配布する。
提言 4 外国人市民に国民健康保険制度を周知する。
- 3. 外国人市民の健康を増進する取り組み**
提言 5 外国人市民にも受けやすい特定健診や特定保健指導、集団検診、個別検診を行う。
提言 6 外国人市民自らが健康を増進に取り組める環境を整える。
- 4. 高齢化する外国人市民に対する取り組み**
提言 7 高齢化する外国人市民に対する取り組みを検討する。

『防災』に関する提言

- 1. 大和市で災害が発生した時に支援を活かす枠組みづくり**
提言 1 外国人市民に必要な防災推進体制を早急に整備する。
提言 2 「災害時多言語支援センター」の設置について地域防災計画に明記し、その準備や運営に取り組む。
提言 3 多文化共生を進める団体と災害発生時の支援協定を結ぶ。
提言 4 災害発生時に相互支援することのできる広域の連携を作る。
- 2. 外国人市民を災害弱者にしないための取り組み**
提言 5 災害時外国人支援ボランティアの育成とボランティアの登録制度を創設する。
提言 6 外国人市民にも参加しやすい総合防災訓練を開催する。
提言 7 外国人市民のための地域防災訓練を開催する。
提言 8 多言語防災ハンドブックを作成する。
提言 9 外国人も安心して避難できる一時避難場所づくりを進める。

財団法人大和市国際化協会
2010年度日本語・学習支援ボランティア活動実績表
(依頼者別集計)

依頼者	活動回数	活動時間	ボランティア数 (実数)	対象生徒数 (実数)
緑野小学校	52	64	5	2
南林間小学校	74	135	5	5
林間小学校	95	167.5	5	2
西鶴間小学校	41	77	4	1
大和小学校	36	36	2	1
文ヶ岡小学校	40	62	3	2
草柳小学校	213	367	12	6
深見小学校	29	71	2	2
柳橋小学校	45	48	2	10
引地台小学校	26	35	4	1
桜丘小学校	99	169	10	2
福田小学校	72	72	4	1
渋谷中学校	92	175	3	7
小計	914	1478.50	61	42
生徒保護者	70	115.75	19	14
国際化協会 (夏休み教室)	102	153	40	22
総合計	1086	1747.25	120	78

2 処務

(1) 役員に関する事項

2011年3月31日現在

職名	氏名	現職・団体	就任(重任)年月日	備考
会長	引田 俊一	大和青年会議所代表	2010年4月1日	新任
副会長	天野 龍平	(社)大和市社会福祉協議会会長	〃	重任
常務理事	天野 洋一	財団法人大和市国際化協会事務局長	〃	重任
理事	清島 健一	大和シティライオンズクラブ代表	〃	新任
	中西 功	大和商工会議所	〃	重任
	田中 かおり	国際ソロプチミストやまと-e	〃	重任
	南島 美雪	国際ソロプチミスト柴胡	〃	重任
	横澤 創	大和中ロータリークラブ	〃	新任
監事	松尾 誠一	東京地方税理士会大和支部	〃	新任
	小山 洋市	大和市財政課長	〃	重任

(2) 評議員に関する事項

2011年3月31日現在

職名	氏名	現職・団体	就任(重任)年月日	備考
評議員	阿部 信一	大和 Y M C A	2009年4月1日	重任
	石井 功	大和地区日中友好協会	〃	新任
	菊池 健一	協会登録日本語学習支援ボランティア	〃	新任
	金 得 洙	神奈川県央日韓親善協会	〃	重任
	志田 早苗	NPO法人かながわ難民定住援助協会	〃	新任
	鈴木 努	大和市文化連盟	〃	重任
	関根 孝子	大和市民活動センター 拠点やまと	〃	新任
	高橋 多千美	さがみ生活クラブ生活協同組合大和 commons	〃	新任
	竹下 連幸	大和ラジオ放送株式会社	〃	再任
	常泉 由里	協会登録通訳・翻訳ボランティア	〃	新任
	府川 みん	外国人市民	〃	新任
	福島 光丘	市内日本語教室「にほんごの会」	〃	新任

(3) 職員に関する事項

2011年3月31日現在

職名	氏名	就職年月日	担当事務	備考
事務局長	天野 洋一	2006年4月1日	総括	固有職員
次長	前田 勝義	2010年4月1日	総務・事業担当	〃
職員	田中 弘子	1994年7月1日	事業担当	〃
〃	小西 永里子	2002年4月1日	総務・事業担当	〃
臨時的任用職員	石川 和友	2010年9月1日	事業担当	〃
非常勤職員	片岡 久美子	2009年6月15日	事業担当	〃
〃	楠 瑠美子	1995年8月1日	通訳員（スペイン語－火曜日）	〃
〃	絹川 敬子	1996年4月1日	通訳員（スペイン語－金曜日）	〃
〃	田野井 サイナ	2002年7月11日	通訳員 （中国語－第1, 3, 5木曜日午前）	〃
〃	岩崎 マリルー	2009年4月1日	通訳員 （タガログ語－第2, 4木曜日午前）	〃
〃	本山 寛子	2010年6月1日	多文化共生ソーシャルワーカー （月、火、金）	〃

(4) 役員会・評議員会に関する事項

ア 理事会

開催年月日	議決事項	開催当日における理事の現在数及び議決権を行使した理事の数並びに議事の結果
第1回理事会 2010年4月1日	議案第1号 財団法人大和市国際化協会の役員の選出について	出席理事の互選により選任 (理事8名中6名出席)
第2回理事会 2010年5月26日	議案第2号 2009年度財団法人大和市国際化協会事業報告(案)について 議案第3号 2009年度財団法人大和市国際化協会収支決算(案)について 議案第4号 2010年度国際化推進活動への助成金交付について	8名中8名の賛成により原案承認 (うち書面により表決する者1名) 8名中8名の賛成により原案承認 (うち書面により表決する者1名) 8名中8名の賛成により原案承認 (うち書面により表決する者1名)
第3回理事会 2010年10月7日	報告第1号 専決処分の承認について (2010年度財団法人大和市国際化協会補正予算(第1号)) 議案第5号 財団法人大和市国際化協会における最初の評議員の選任方法(案)について 議案第6号 2010年度財団法人大和市国際化協会事業計画の追加及び財団法人大和市国際化協会補正予算(第2号)(案)について	8名中8名の賛成により原案承認 (うち書面により表決する者5名) 8名中8名の賛成により原案承認 (うち書面により表決する者5名) 8名中8名の賛成により原案承認 (うち書面により表決する者5名)
第4回理事会 2011年3月10日	議案第7号 財団法人大和市国際化協会評議員の選任について 議案第8号 2011年度財団法人大和市国際化協会事業計画(案)について 議案第9号 2011年度財団法人大和市国際化協会収支予算(案)について 報告第2号 専決処分の報告について (財団法人大和市国際化協会職員給与規程及び財団法人大和市国際化協会再雇用職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について)	8名中7名の賛成により原案承認 (うち書面により表決するもの1名) 8名中7名の賛成により原案承認 (うち書面により表決するもの1名) 8名中7名の賛成により原案承認 (うち書面により表決するもの1名) 8名中7名の賛成により原案承認 (うち書面により表決するもの1名)

イ 評議員会

開催年月日	議決（協議内容）事項	開催当日における評議員の現在数及び議決権を行使した評議員の数並びに議事の結果
第1回評議員会 2010年5月26日	<p>協議第1号 2009年度財団法人大和市国際化協会事業報告（案）について</p> <p>協議第2号 2009年度財団法人大和市国際化協会収支決算（案）について</p>	<p>12名中10名の賛成により原案承認（うち3名書面表決・2名欠席）</p> <p>12名中10名の賛成により原案承認（うち3名書面表決・2名欠席）</p>
第2回評議員会 2010年10月7日	<p>報告第1号 専決処分の報告について （2010年度財団法人大和市国際化協会補正予算（第1号）について）</p> <p>協議第3号 2010年度財団法人大和市国際化協会事業計画の追加及び財団法人大和市国際化協会補正予算（第2号）（案）について</p>	<p>報告事項につき、表決なし</p> <p>12名中9名の賛成により原案承認（うち1名書面表決・3名欠席）</p>
第3回評議員 2011年3月10日	<p>協議第4号 2011年度財団法人大和市国際化協会事業計画（案）について</p> <p>協議第5号 2011年度財団法人大和市国際化協会収支予算（案）について</p> <p>報告第2号 専決処分の報告について （財団法人大和市国際化協会職員給与規程及び財団法人大和市国際化協会再雇用職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について）</p>	<p>12名中11名の賛成により原案承認（うち1名書面表決・欠席1名）</p> <p>12名中11名の賛成により原案承認（うち1名書面表決・欠席1名）</p> <p>報告事項につき、表決なし</p>

(5) 契約に関する事項

契約締結及び 施行年月日	相手方	契約の概要
2010年4月1日	大和市下鶴間一丁目1番1号 大和市 大和市長 大木 哲	2010年度 大和市国際化推進業務委託契約
2010年4月1日	大和市下鶴間一丁目1番1号 大和市 大和市長 大木 哲	2010年度 大和市国際化推進事業 (緊急雇用創出臨時特例基金事業)委託契約
2010年4月1日	大和市深見西八丁目3番6号 大和市立病院 大和市長 大木 哲	2010年度 通訳・翻訳業務委託契約
2010年4月1日	横浜市区西区北幸二丁目6番26号HI横浜ビル キャノンシステムアンドサポート株式会社	2010年度 電子複写機賃貸借契約
2010年4月1日	埼玉県志木市本町六丁目16番60号 株式会社 サクセス	2010年度 ソフトウェアサポート 年間保守契約
2010年4月1日	大和市大和東一丁目7番11号三香ビル2階 大和ラジオ放送株式会社	2010年度 CM制作及び放送委託業務契約
2010年4月1日	東京都新宿区神楽坂二丁目16番 MSビル303 双葉法務・行政事務所 代表 今木 三郎	2010年度 外国語版情報紙 スペイン語版「Tierra」 年間広告掲載契約
2010年4月1日	- 吉田 恭子	2010年度 英会話(初級)と外国文化紹介講座 実施契約
2010年4月30日	東京都港区南青山五丁目4番35号たつむら青山ビル 株式会社 コンパス保険	2010年度 行事保険包括契約
2010年6月3日	藤沢市本町一丁目3番33号 株式会社 さんこうどう	2010年度 機関誌「Pal」 年間広告掲載契約
2010年6月12日	東京都港区南青山五丁目4番35号たつむら青山ビル 株式会社 コンパス保険	2010年度 自動車保険
2010年6月23日	- 喜多 民子	2010年度 日本語教授法ブラッシュアップ講座 実施契約
2010年8月1日	東京都渋谷区恵比寿一丁目24番4号 財団法人日本労働文化協会	2010年度 職員一般健康診断委託契約
2010年9月1日	大和市下鶴間一丁目1番1号 大和市 大和市長 大木 哲	2010年度 やまと世界料理の屋台村事業委託契約

契約締結及び 施行年月日	相手方	契約の概要
2010年9月7日	ジェニファー バーンヒル	2010年度 英会話(初級)と外国文化紹介講座 実施契約
2010年9月15日	文 西男	2010年度 ハングル(入門)と韓国文化紹介講座 実施契約
2010年10月1日	東京都葛飾区新小岩一丁目17番10号 TIJ東京日本語研修所	2010年度 日本語教室(初級) 実施契約
2010年11月13日	大和市深見西八丁目6番12号 やまと国際交流フェスティバル実行委員会	2010年度 第6回やまと国際交流フェスティバル 事業実施委託契約
2010年12月10日	東京都新宿区片町4番3号 財団法人日本人事試験研究センター	職員採用試験にかかる問題集の貸与 委託契約
2010年12月17日	東京都港区南青山五丁目4番35号 かつむら青山ビル 株式会社 コンパス保険	2010年度 役員傷害保険

2010年度

収 支 決 算 書

財団法人大和市国際化協会

収 支 計 算 書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	(2,600,000)	(2,600,000)	(0)	
基本財産利息収入	2,600,000	2,600,000	0	
特定資産運用収入	(15,000)	(10,732)	(4,268)	
特定資産利息収入	15,000	10,732	4,268	
会費収入	(1,200,000)	(1,309,000)	(109,000)	
賛助会員会費収入	1,200,000	1,309,000	109,000	
事業収入	(90,000)	(65,000)	(25,000)	
国際理解の促進及び国際感覚の 高揚に関する事業収入	40,000	40,000	0	
外国人と共に暮らせる地域環境づ くりに関する事業収入	50,000	25,000	25,000	
補助金等収入	(40,772,000)	(40,771,094)	(906)	
大和市運営費補助金収入	29,663,000	29,663,000	0	
国際化推進事業受託収入	11,109,000	11,108,094	906	
負担金収入	(1,422,000)	(1,331,894)	(90,106)	
負担金収入	1,422,000	1,331,894	90,106	
寄付金収入	(340,000)	(50,000)	(290,000)	
寄付金収入	340,000	50,000	290,000	
雑収入	(5,000)	(9,020)	(4,020)	
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	5,000	9,020	4,020	
事業活動収入計	46,444,000	46,146,740	297,260	

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
2. 事業活動支出				
① 国際理解の促進及び国際感覚の高揚に関する事業費支出	(9,303,000)	(9,509,570)	(△ 206,570)	
給料手当支出	5,711,000	5,793,373	△ 82,373	
福利厚生費支出	890,000	880,542	9,458	
会議費支出	20,000	0	20,000	
旅費交通費支出	20,000	0	20,000	
通信運搬費支出	266,000	246,290	19,710	
消耗品費支出	298,000	311,625	△ 13,625	
印刷製本費支出	741,000	749,000	△ 8,000	
賃借料支出	49,000	39,939	9,061	
諸謝金支出	744,000	685,551	58,449	
事業開催費支出	564,000	803,250	△ 239,250	
② 市民主体の国際交流への支援及び助成事業費支出	(940,000)	(724,022)	(215,978)	
旅費交通費支出	12,000	4,960	7,040	
通信運搬費支出	15,000	6,920	8,080	
消耗品費支出	53,000	28,242	24,758	
助成金支出	450,000	448,650	1,350	
委託費支出	410,000	205,250	204,750	
事業開催費支出	0	30,000	△ 30,000	
③ 外国人と共に暮らせる地域環境づくりに関する事業費支出	(22,775,013)	(18,251,763)	(4,523,250)	
給料手当支出	7,309,000	4,470,029	2,838,971	
臨時雇賃金支出	4,083,000	4,034,830	48,170	
退職給付支出	5,875,013	5,875,013	0	
福利厚生費支出	1,178,000	763,372	414,628	
会議費支出	30,000	5,250	24,750	
旅費交通費支出	94,000	56,770	37,230	
通信運搬費支出	132,000	124,130	7,870	
消耗品費支出	197,000	94,550	102,450	
印刷製本費支出	519,000	534,188	△ 15,188	
賃借料支出	95,000	3,150	91,850	
諸謝金支出	2,138,000	1,982,500	155,500	
負担金支出	20,000	0	20,000	

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
委託費支出	700,000	307,981	392,019	
事業開催費支出	405,000	0	405,000	
④ 国際化を促進するための人材育成事業費支出	(9,081,000)	(8,747,052)	(333,948)	
給料手当支出	7,323,000	7,117,770	205,230	
福利厚生費支出	1,111,000	1,098,956	12,044	
旅費交通費支出	241,000	305,300	△ 64,300	
通信運搬費支出	59,000	47,950	11,050	
消耗品費支出	102,000	58,076	43,924	
諸謝金支出	225,000	119,000	106,000	
事業開催費支出	20,000	0	20,000	
⑤ その他目的を達成するために必要な事業費支出	(0)	(0)	(0)	
⑥ 管理費支出	(9,031,000)	(8,284,914)	(746,086)	
役員報酬支出	739,000	400,500	338,500	
給料手当支出	4,968,000	4,863,128	104,872	
臨時雇賃金支出	1,076,000	1,062,781	13,219	
福利厚生費支出	110,000	109,378	622	
旅費交通費支出	15,000	1,200	13,800	
通信運搬費支出	226,000	231,694	△5,694	
消耗品費支出	196,000	200,317	△4,317	
修繕費支出	130,000	68,565	61,435	
印刷製本費支出	136,000	129,150	6,850	
燃料費支出	50,000	33,939	16,061	
賃借料支出	561,000	493,220	67,780	
保険料支出	191,000	244,732	△53,732	
諸謝金支出	50,000	50,000	0	
租税公課支出	54,000	40,235	13,765	
負担金支出	134,000	62,555	71,445	
委託費支出	300,000	237,850	62,150	
雑支出	95,000	55,670	39,330	
⑦ 大和市戻入金支出	(0)	(3,694,660)	(△3,694,660)	
大和市戻入金支出	0	3,694,660	△3,694,660	
事業活動支出計	51,130,013	49,211,981	1,918,032	
事業活動収支差額	△ 4,686,013	△ 3,065,241	△ 1,620,772	

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	(5,875,013)	(5,875,013)	(0)	
退職給付引当資産取崩収入	5,875,013	5,875,013	0	
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0	
事業安定積立資産取崩収入	0	0	0	
外国人支援預金資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	5,875,013	5,875,013	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	(2,826,390)	(2,826,395)	(△ 5)	
退職給付引当資産取得支出	1,094,000	1,094,000	0	
減価償却引当資産取得支出	0	0	0	
事業安定積立資産取得支出	1,732,390	1,732,390	0	
外国人支援預金資産取得支出	0	5	△ 5	
投資活動支出計	2,826,390	2,826,395	△ 5	
投資活動収支差額	3,048,623	3,048,618	5	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
① 借入金収入	(0)	(0)	(0)	
短期借入金収入	0	0	0	
長期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
② 借入金返済支出	(0)	(0)	(0)	
短期借入金返済支出	0	0	0	
長期借入金返済支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
1. 予備費支出				
① 予備費支出	(95,000)	(0)	(95,000)	
予備費支出	95,000		95,000	
当期収支差額	△ 1,732,390	△ 16,623	△ 1,715,767	
前期繰越収支差額	1,732,390	1,732,390	0	
次期繰越収支差額	0	1,715,767	△ 1,715,767	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、未払金、前受金及び預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

科目	前期末残高	当期末残高
現金	33,408	30,000
(八千代銀行大和支店)普通預金	6,093,922	4,698,186
(ゆうちょ銀行)賛助会員会費口	2,625,777	2,869,107
(ゆうちょ銀行)イベント負担金口	500	85,500
未収入金	101,000	0
合計	8,854,607	7,682,793
未払金	6,621,183	5,434,230
前受金	0	30,000
預り金	501,034	502,796
合計	7,122,217	5,967,026
次期繰越収支差額	1,732,390	1,715,767

3. 収支計算書は、当年度から「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。

貸借対照表

2011年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度(参考)	増減(参考)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	30,000	33,408	△ 3,408
(八千代銀行大和支店) 普通預金	4,698,186	6,093,922	△ 1,395,736
(ゆうちょ銀行) 賛助会員会費口	2,869,107	2,625,777	243,330
(ゆうちょ銀行) イベント負担金口	85,500	500	85,000
未収入金	0	101,000	△ 101,000
流動資産合計	7,682,793	8,854,607	△ 1,171,814
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	199,980,000	199,980,000	0
基本財産普通預金	20,000	20,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,759,417	13,540,430	△ 4,781,013
事業安定積立資産	5,684,225	3,951,835	1,732,390
外国人支援資産	20,286	20,281	5
特定資産合計	14,463,928	17,512,546	△ 3,048,618
固定資産合計	214,463,928	217,512,546	△ 3,048,618
資産の部合計	222,146,721	226,367,153	△ 4,220,432
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,434,230	6,621,183	△ 1,186,953
前受金	30,000	0	30,000
預り金	502,796	501,034	1,762
流動負債合計	5,967,026	7,122,217	△ 1,155,191
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,759,417	13,540,430	△ 4,781,013
固定負債合計	8,759,417	13,540,430	△ 4,781,013
負債の部合計	14,726,443	20,662,647	△ 5,936,204
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産	7,420,278	5,704,506	1,715,772
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(5,704,511)	(3,972,116)	(1,732,395)
正味財産合計	207,420,278	205,704,506	1,715,772
負債及び正味財産合計	222,146,721	226,367,153	△ 4,220,432

正味財産増減計算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度(参考)	増減(参考)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,600,000	2,600,000	0
② 特定資産運用益	10,732	32,011	△ 21,279
③ 賛助会員受取会費	1,309,000	1,258,000	51,000
④ 事業収益	65,000	164,000	△ 99,000
国際理解の促進及び国際感覚の高揚に関する事業収益	40,000	139,000	△ 99,000
外国人と共に暮らせる地域環境づくりに関する事業収益	25,000	25,000	0
⑤ 受取補助金等	40,771,094	41,628,000	△ 856,906
大和市運営費補助金	29,663,000	30,996,000	△ 1,333,000
大和市国際化推進事業受託収益	11,108,094	10,632,000	476,094
⑥ 受取負担金	1,331,894	1,809,929	△ 478,035
⑥ 受取寄付金	50,000	430,000	△ 380,000
⑦ 雑収益	9,020	16,578	△ 7,558
経常収益計	46,146,740	47,938,518	△ 1,791,778
(2) 経常費用			
① 国際理解の促進及び国際感覚の高揚に関する事業費	9,509,570	7,970,369	1,539,201
給料手当	5,793,373	5,651,261	142,112
福利厚生費	880,542	774,003	106,539
会議費	0	0	0
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	246,290	186,385	59,905
消耗品費	311,625	170,961	140,664
印刷製本費	749,000	617,954	131,046
賃借料	39,939	55,250	△ 15,311
諸謝金	685,551	511,555	173,996
雑費	0	3,000	△ 3,000
事業開催費	803,250	0	803,250
② 市民主体への国際交流への支援及び助成事業	724,022	2,094,996	△ 1,370,974
役員報酬	0	26,700	△ 26,700
旅費交通費	4,960	1,480	3,480
通信運搬費	6,920	16,630	△ 9,710
消耗品費	28,242	276,294	△ 248,052
賃借料	0	112,800	△ 112,800
支払助成金	448,650	399,500	49,150
委託費	205,250	205,250	0
事業開催費	30,000	1,056,342	△ 1,026,342
③ 外国人と共に暮らせる地域環境づくりに関する事業	13,470,750	16,072,649	△ 2,601,899
給料手当	4,470,029	6,861,868	△ 2,391,839
臨時雇賃金	4,034,830	3,374,960	659,870
退職給付費用	1,094,000	1,072,000	22,000
福利厚生費	763,372	966,451	△ 203,079
会議費	5,250	25,100	△ 19,850
旅費交通費	56,770	69,080	△ 12,310

(単位:円)

科目	当年度	前年度(参考)	増減(参考)
通信運搬費	124,130	133,750	△ 9,620
消耗品費	94,550	179,230	△ 84,680
印刷製本費	534,188	548,800	△ 14,612
賃借料	3,150	64,050	△ 60,900
諸謝金	1,982,500	2,096,000	△ 113,500
委託費	307,981	300,000	7,981
事業開催費	0	381,360	△ 381,360
④ 国際化を促進するための人材育成事業	8,747,052	8,905,426	△ 158,374
給料手当	7,117,770	7,060,888	56,882
福利厚生費	1,098,956	992,309	106,647
旅費交通費	305,300	276,680	28,620
通信運搬費	47,950	26,260	21,690
消耗品費	58,076	38,289	19,787
賃借料	0	11,000	△ 11,000
諸謝金	119,000	500,000	△ 381,000
⑤ 管理費	8,284,914	8,094,395	190,519
役員報酬	400,500	409,400	△ 8,900
給料手当	4,863,128	4,892,568	△ 29,440
臨時雇賃金	1,062,781	1,001,626	61,155
福利厚生費	109,378	107,342	2,036
旅費交通費	1,200	8,140	△ 6,940
通信運搬費	231,694	249,473	△ 17,779
消耗什器備品費	0	215,460	△ 215,460
消耗品費	200,317	159,740	40,577
修繕費	68,565	21,505	47,060
印刷製本費	129,150	131,250	△ 2,100
燃料費	33,939	36,971	△ 3,032
賃借料	493,220	471,575	21,645
保険料	244,732	150,295	94,437
諸謝金	50,000	50,000	0
租税公課	40,235	21,900	18,335
支払負担金	62,555	92,100	△ 29,545
委託費	237,850	0	237,850
雑費	55,670	75,050	△ 19,380
⑥ 大和市戻入金	3,694,660	3,631,285	63,375
経常費用計	44,430,968	46,769,120	△ 2,338,152
当期経常増減額	1,715,772	1,169,398	546,374
2. 経常外増減の部			
当期経常外増減額	0	1,031,415	△ 1,031,415
当期一般正味財産増減額	44,430,968	47,800,535	△ 3,369,567
一般正味財産期首残高	5,704,506	3,503,693	2,200,813
一般正味財産期末残高	7,420,278	5,704,506	1,715,772
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	207,420,278	205,704,506	1,715,772

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……取得原価法によっている

(2) 棚卸評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(4) 引当金の計上基準

退職給与引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

該当なし

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によって行っている。

(7) 税効果会計の適用について

該当なし

2. 会計方針の変更

当期から公益法人会計基準(公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ平成16年10月14日)を採用している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	199,980,000	0	0	199,980,000
普通預金	20,000	0	0	20,000
小計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	13,540,430	1,094,000	5,875,013	8,759,417
事業安定積立資産	3,951,835	1,732,390	0	5,684,225
外国人支援資産	20,281	5	0	20,286
小計	17,512,546	2,826,395	5,875,013	14,463,928
合計	217,512,546	2,826,395	5,875,013	214,463,928

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち債務に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	199,980,000	(199,980,000)	(0)	0
普通預金	20,000	(20,000)	(0)	0
小計	200,000,000	(200,000,000)	(0)	0
特定資産				
退職給付引当資産	8,759,417	—	—	(8,759,417)
事業安定積立資産	5,684,225	(0)	(5,684,225)	—
外国人支援資産	20,286	(0)	(20,286)	—
小計	14,463,928	(0)	(5,704,511)	(8,759,417)
合計	214,463,928	(200,000,000)	(5,704,511)	(8,759,417)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

8. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当なし

9. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿評価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿評価額、時価及び評価損益は次のとおりである。(単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
神奈川県第26回5年公募公債(野村証券)	99,990,000	101,458,453	1,468,453
神奈川県第26回5年公募公債(大和証券)	99,990,000	101,489,850	1,499,850
合計	199,980,000	202,948,303	2,968,303

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
寄付金	大和市	200,000,000	0	0	200,000,000	指定正味財産
合計		200,000,000	0	0	200,000,000	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

12. 関連当事者との取引内容

大和市との取引内訳は次のとおりである。

取引の内容	取引金額	返還(戻入)金額	差引金額
運営費補助金(人件費・管理費)	29,663,000	3,694,660	25,968,340
業務委託			
国際化推進事業	8,342,000	0	8,342,000
国際化推進事業(緊急雇用創出特例基金事業)	1,913,094	0	1,913,094
やまと世界料理の屋台村事業	853,000	0	853,000
合計	40,771,094	3,694,660	37,076,434

13. 重要な後発事象

該当なし

14. その他

特になし

財 産 目 録
2011年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	現金手許有高	30,000
普通預金	八千代銀行大和支店	4,698,186
ゆうちょ銀行	賛助会員会費口	2,869,107
	イベント負担金口	85,500
未収入金		0
流動資産合計		7682793
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産有価証券	神奈川県第26回5年公募公債	199,980,000
基本財産普通預金	八千代銀行大和支店	20,000
基本財産合計		200,000,000
(2) 特定資産		
退職給付引当資産	八千代銀行大和支店(退職給与引当預金)	8,759,417
事業安定積立資産	八千代銀行大和支店(事業安定積立預金)	5,684,225
外国人支援資産	八千代銀行大和支店(外国人支援預金)	20,286
特定資産合計		14,463,928
固定資産合計		214,463,928
資産合計		222,146,721
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		5,434,230
前受金		30,000
預り金		502,796
流動負債合計		5,967,026
2. 固定負債		
退職給付引当金		8,759,417
固定負債合計		8,759,417
負債合計		14,726,443
正味財産		207,420,278